

## 自己評価報告書

平成23年 4月20日現在

機関番号：10101

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2008～2011

課題番号：20330030

研究課題名(和文) 規制帝国＝EUの歴史的形成と展開

研究課題名(英文) The European Union as a Regulatory Empire: The Past and the Present.

研究代表者

遠藤 乾 (ENDO KEN)

北海道大学・大学院法学研究科・教授

研究者番号：00281775

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：政治学・国際関係論

キーワード：EU、欧州連合、ヨーロッパ統合、帝国、規制、標準

## 1. 研究計画の概要

本研究は、規制帝国としてのEU（ヨーロッパ連合）を、その形成過程に遡って分析する。この研究は、グローバル化する現代世界にあって、世界標準と規制の設定が経済的競争力のみならず政治的影響力を左右するという認識に基づき、この分野で米国と並ぶ力を持つEUの力の源泉を、歴史と現状の両面において解明しようとするものである。これは同時に、これまでチームで取り組んできたヨーロッパ統合史の研究をさらに発展させ、従来の研究で軽視されてきたEUの帝國的な権力の検討に接続させる新しい試みとなる。

## 2. 研究の進捗状況

本プロジェクトは、これまでの3年間で、規制主体としてのEUの研究を実質的に前進させ、標準化や規制に関する調査を進めるほか、研究発表・発信に務めてきた。また、初年度に着手されたインフラ構築、基本的問題枠組と発見的・探索的論点の共有がその後の2年間でさらに深化することができた。さらに、初年度に開催したワークショップの成果発表を追求した。具体的には以下である。

(1) 国際ワークショップの開催と人的ネットワーク形成：21st World Congress Workshop, Santiago, Chile, on 12-16 July 2009、2008年9月5-6日に「Regulatory/Standardisation Politics of the European Union and the World」と題し、札幌にて国際ワークショップを開催した。引き続き2009年7月12-16日にはチリのサンチャゴにて世界国際政治学会の部会を組織した。さらに、2010年9月には

台北にてアジア太平洋地域の規制について考える公開シンポを持った。これらを通じて、EUと標準化・規制について最新の研究を交換したほか、外国との人的ネットワーク作りを積極的に進めた。

(2) 北海道大学GCOE（多元分散型統御の新生代法政策学）紀要の特集号で、EUの標準化・規制権力に関する英文出版を試みた。これを基とし、最終年度に日本語の編著を編纂するのだが、そのためのドラフト交換会を2010年9月に組織した。

(3) 文献・インフラの整備：事務・連絡体制、拠点でのセミナー開催、ライブラリやIT関係設備など、初年度から体勢を整えてきた。そのおかげで若手研究者のリクルートも首尾良く進行し、スムーズに共同研究に当たってこられた。

## 3. 現在までの達成度

②概ね順調に進展している。

(理由)

上記で述べたように、最終年度における編著公刊に向けて、研究組織作り、図書整備、国際ワークショップ開催などを積み上げてこられた。すでに編著『EUの規制力』の公刊は、日本経済評論社との間で合意しており、執筆陣も最終確定し、2011年度6月の最終ドラフト読み合わせ会に向けて、各人鋭意執筆中である。

## 4. 今後の研究の推進方策

最終年度は、上記編著の公刊に向けて全力を注ぐ。9月締め切りで年度内刊行を実現し、成果を世に問う予定である。

5. 代表的な研究成果  
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 48 件)

1. 元田結花「IDS における開発間の形成：植民地経営から国際的課題としての開発へ」、遠藤乾【編】『グローバル・ガバナンスの歴史と思想』(有斐閣)、P.163-190、2010、査読無
2. ENDO, Ken, “The Politics of Global Governance: Examining the Formation of International Accounting Standards,” 新世代法政策学研究 2 号、P.207-231、2009、査読無
3. 中村民雄「国連安保理決議を実施する EC 規則の効力審査：テロリスト資産凍結 (カディ) 事件・上訴審判決 [2008.9.3 欧州司法裁判所判決]」、ジュリスト 1371 号、P.48-59、2009、査読無
4. SUZUKI, Kazuto, “EU As a “Regulatory Empire”,” 新世代法政策学研究 2 号、P.141-159、2009、査読無
5. 臼井陽一郎「EU の環境ガバナンスとデモクラシー」、庄司克宏【編著】『EU 環境法』(慶應義塾大学出版会)、P.289-325、2009、査読無

[学会発表] (計 35 件)

1. 鈴木一人「EU におけるテロ対処の枠組み」、日本国際政治学会・部会 2「テロ対処における多国間枠組みの可能性と課題」(つくば国際会議場)、2008 年 10 月 24 日
2. 臼井陽一郎「EU の持続性戦略 (SDS) とソフト・ガバナンス：民主主義の観点から」、第 32 回慶應 EU 研究会 (慶應義塾大学)、2008 年 4 月 26 日

[図書] (計 9 件)

1. 遠藤乾【編】『グローバル・ガバナンスの歴史と思想』(有斐閣)、P.1-328、2010
2. 遠藤乾【編】『【原典】ヨーロッパ統合史：史料と解説』(名古屋大学出版会) P.1-799、2008

[その他]

ホームページ

<http://www.juris.hokudai.ac.jp/gcoe/journal/lpg.html>